

青南殿

明十九日 吉井一三

有る者向 色糸上

了はの 田人七カゴ

の杜早 招方任

の門下生 任の

之比 薩の 御事と

御事し 御事し 又た

任の 国府 日本

銀河より 何交野



今日

銀行より何交財

因の換株況を物

め取進せよと

日師知しん

只々カブシヤ青年

中の躍起を云ふ

系亦お方々物の

先登より受信せよ

其の御ふ部も枝

柵せしるの了物

有えらるる何事

さうは格好いこと

接見の上し示

福の事下交し

さういふ格うりこし

接見の上いふ事

請め申下交は

とらぬかの甚だ風

奮の劑とすうまた電

診候の効用い

有えん

用いのし

三月十日

徳有

大徳院殿

いさ下

大隈伯殿
紹介
閣下



徳富猪一印